

2-8

おじいちゃん、おばあちゃんの知恵袋

幼いころ同居していた、または田舎の曾祖父母や祖父母との優しく温かいふれ合いが、懐かしい思い出として残っていませんか。違うようで同じ、同じようで変わってきている子育て事情を踏まえながら、次世代へとつなぐ意味を考えてみましょう。

ワーク 1

- ① 父母や祖父母から伝えられた生活の知恵や子育ての方法、伝承遊びなどを思い出してみましょう。

- ② 現在生活している中で、伝えられてきた生活の知恵や子育ての方法に違いがあるものを考えてみましょう。

- ③ グループで話し合ってみましょう。

エピソード

あい子さん夫婦は、小学2年生のまさとくん、幼稚園児5歳のあきちゃん、2歳のれいくん、義父母との7人家族。今日はれいくんをおばあちゃんに見てもらって小学校の参観に行ってきました。

「れいをありがとうございました。」

「お利口でしたよ、鼻水がでていたのもう1枚着せておきましたからね。今日のお風呂は休んだ方がいいんじゃない？」

「鼻水はアレルギーのようなんですよ。」

「でもね、昔から鼻水がでると風邪のはじまりだからお風呂に入れない方が、といいますよ。一枚多く着て暖かくして、あまり外に出ないようにしていたら治るから大丈夫！」

鼻水が出るたびに繰り返される会話にあい子さんも困っています。夫に話しても「心配しているだけだから気にするな」と取り合ってくれません。あいさんが風邪をひいた時も同じように心配をしてくれるおばあちゃん。「金柑シロップ」や「しょうが湯」を出してくれて、嬉しかったことを思い出しましたが、「れいのことはわかってもらいたい……」と思うあい子さんでした。

ワーク 2

エピソードを読んで、グループで話し合しましょう。

- ① それぞれの気持ちを考えてみましょう。

あい子さん	
夫	
子供	
祖父母	

- ② 世代をつなぐ、身近な人や地域の人との関わりの大切さとその方法を考えてみましょう。
また問題点やその解決策などを話し合ってみましょう。

関わりの大切さとその方法は・・・



問題点とその解決策は・・・



ふりかえり

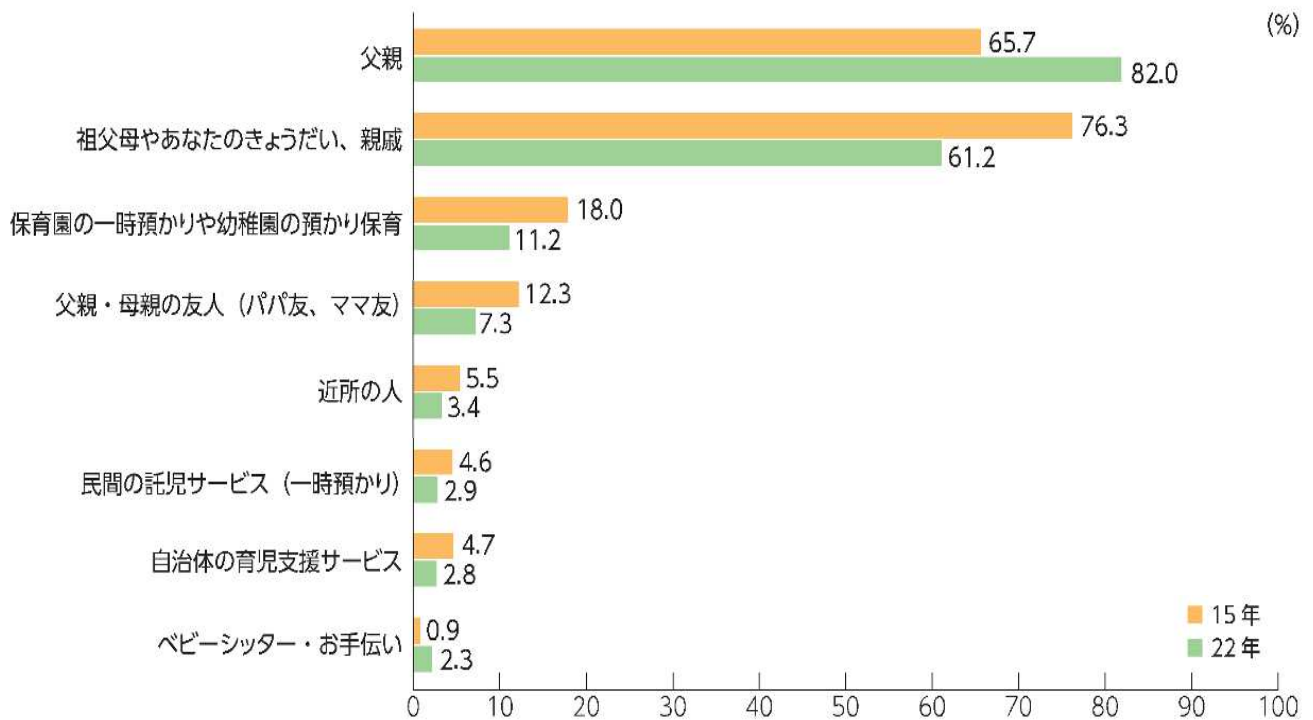
グループの話し合いの中で気づいたことや今日の感想を書いてみましょう。





家をあけるときの、子どもの面倒をみてくれる人(機関・サービス)を教えてください。

図3-1-2 子どもの面倒をみてくれる人・機関(経年比較)

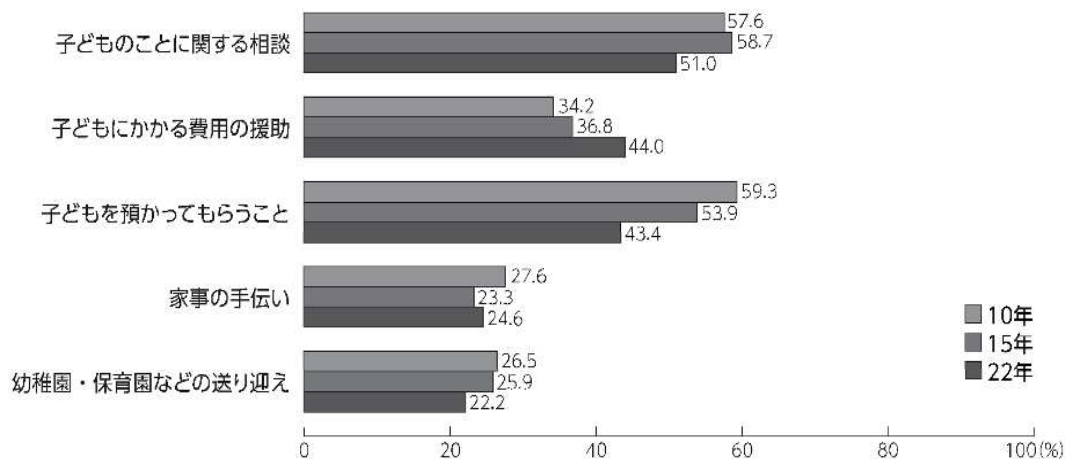


※子どもの面倒をみてくれる人(機関・サービス)がいる(ある)と回答した人のみ。

※複数回答。

※「その他」は図示していない。

図表3-1-4 祖父母の援助(経年比較)



注1) 祖父母のいる人のみの回答。

注2) 数値は「よくある」と「ときどきある」の合計。

